

厚生常任委員会

資料

令和4年4月26日(火)

病院局

目 次

I	病院局幹部職員名簿	1 頁
II	病院局の組織及び経営管理課の業務概要	2 頁
III	各県立病院の概況	3 頁
IV	「令和4年度宮崎県立病院事業会計予算」の概要	5 頁
V	その他報告事項 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について	19 頁

I 病院局幹部職員名簿

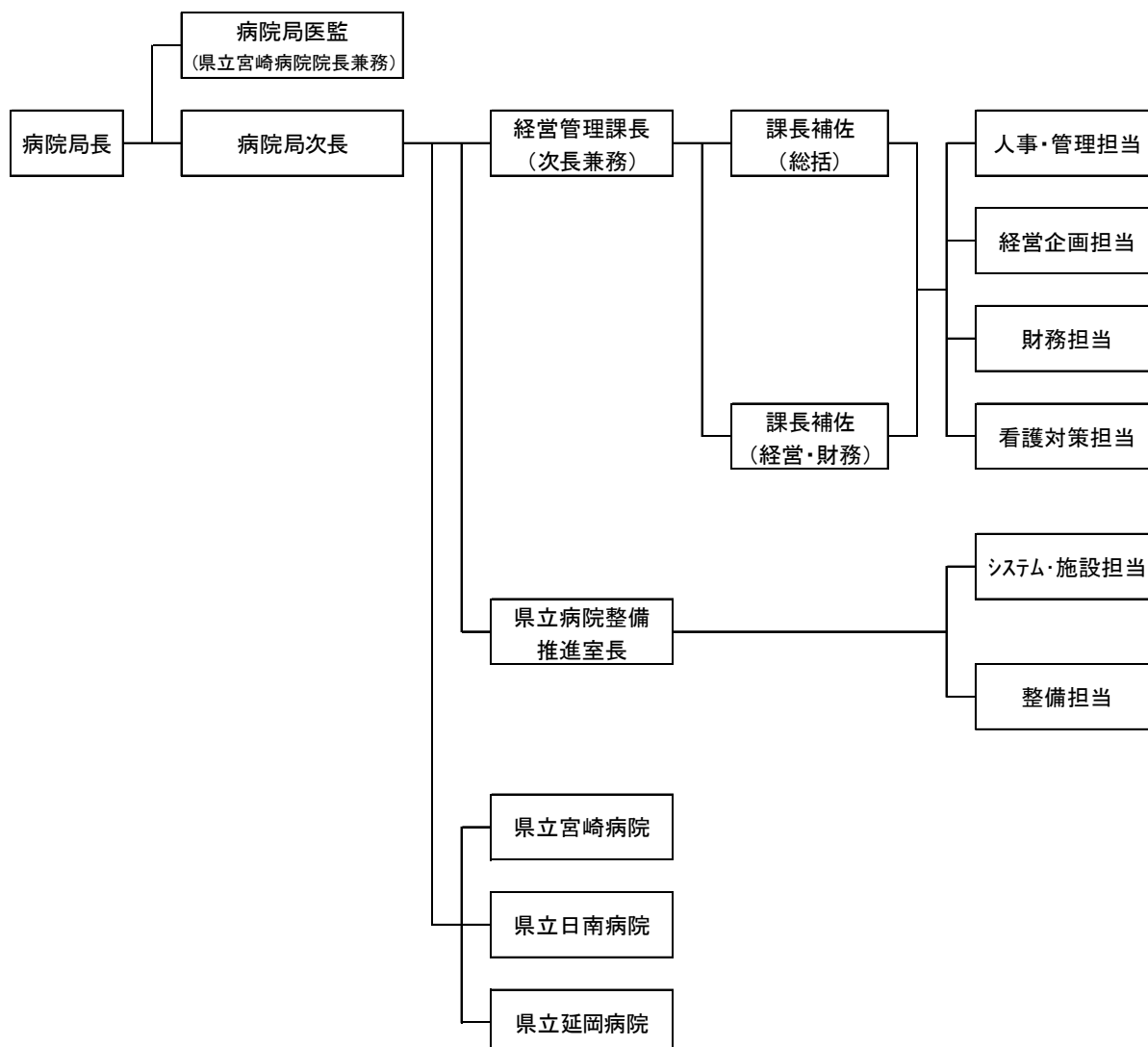
【令和4年4月1日現在】

病院事業管理者 病院局長 <small>よしむらひさと</small> 吉村久人 病院局医監 <small>しまもととみひろ</small> 嶋本富博 病院局次長 <small>だいてうおさむ</small> 大東収		
課名	課長・室長名	課長補佐名
経営管理課	病院局次長兼経営管理課長 <small>だいてうおさむ</small> 大東収 県立病院整備推進室長 <small>まつだしんじ</small> 松田真二	課長補佐（総括） <small>ますだみつひろ</small> 増田光宏 課長補佐（経営・財務担当） <small>わかまつとしのぶ</small> 若松俊信
病院名	病院長名	事務局長名
県立宮崎病院	病院局医監 兼病院長 <small>しまもととみひろ</small> 嶋本富博	事務局長 <small>さとうあきのぶ</small> 佐藤彰宣
県立日南病院	病院長 <small>みねかずひこ</small> 峯一彦	事務局長 <small>いいづかみのる</small> 飯塚実
県立延岡病院	病院長 <small>てらおきみなり</small> 寺尾公成	事務局長 <small>とだかひろのぶ</small> 戸高広信

※議会担当 経営管理課 主幹（人事・管理担当） みやたまもる 宮田守

II 病院局の組織及び経営管理課の業務概要

1 組織



2 業務概要（経営管理課）

- ・ 県立病院事業の総合的な企画及び調整に関すること
- ・ 県立病院事業会計の予算経理に関すること
- ・ 病院の運営指導に関すること
- ・ 組織及び職員の定数に関すること
- ・ 職員の任免、給与、勤務時間その他の勤務条件、懲戒、研修及びその他の身分取扱に関すること
- ・ 労働協約その他労働関係に関すること
- ・ 病院の施設整備に関すること

Ⅲ 各県立病院の概況

〈令和4年4月1日現在〉

		宮崎病院	延岡病院	日南病院
1 開設年月日		大正10年10月	昭和23年9月	昭和23年9月
2 改築年月日		昭和60年3月	平成9年11月	平成10年2月
3 病床数	稼働	481床	388床	281床
	許可	502床	410床	281床
4 診療科目	共通科目	内科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、精神科、臨床検査科、病理診断科		
	上記以外	小児外科 心臓血管外科 救命救急科 総合診療科 内視鏡センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	心療内科 心臓血管外科 救命救急科 呼吸器外科 集中治療科 耳鼻咽喉科	心療内科 耳鼻咽喉科
	科目数	24科	24科	20科
5 救急医療機能		3次救急医療	3次救急医療 2次救急医療	2次救急医療
6 災害医療機能		基幹災害拠点病院	地域災害拠点病院	地域災害拠点病院
7 職員数		736名	548名	342名
医師		110名	65名	40名
看護師・助産師		504名	383名	238名
コメディカル		103名	88名	52名
事務その他		19名	12名	12名

注：職員数は、令和4年4月15日現在かつ再任用短時間勤務職員を含まない。

IV 「令和4年度宮崎県立病院事業会計予算」の概要

経営管理課

1 基本方針

新型コロナウイルス感染症への対応に引き続き万全を期す一方、全県あるいは地域の中核病院として、救急医療や高度・急性期医療など、県立病院の本来の役割と機能を果たすため、安定的な病院経営の維持を図る。

- (1) 質の高い医療の提供とそれを支えるスタッフの確保・充実とともに、患者サービスの向上に努め、県民が安心できる医療提供体制の構築を図る。
- (2) 県立病院の役割として政策医療や不採算医療に積極的に取り組むとともに、地域の医療機関等との連携やかかりつけ医等への支援、スタッフの育成等を通じ、地域医療の充実に貢献する。
- (3) DPC制度（診断群分類包括評価）をはじめとする診療報酬制度に的確に対応した効率的な医療の提供や新たな施設基準の取得に取り組むほか、機能強化に努め、収入の増加を目指す。
- (4) 必要度・優先度を踏まえた医療機器の購入や改良工事の実施等のほか、各種経費について、内容の見直しを行い、支出の節減に努める。

2 年間患者数（目標）

直近の患者動向等を踏まえ、延入院患者数及び延外来患者数の目標を次のとおりとする。

（単位：人）

	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増 減
延入院患者数	305,505	292,000	13,505
延外来患者数	348,219	324,280	23,939
合 計	653,724	616,280	37,444

3 新規・重点事業

- (1) 県立宮崎病院改築事業（改修・解体工事等） 2,473,935千円
- (2) ㊦県立延岡病院心臓脳血管センターハイブリッド手術室整備事業 551,618千円
- (3) ㊦働き方改革関連システム導入事業 84,920千円
- (4) 県立病院経営改善事業 30,000千円
- (5) 地域医療連携推進事業 10,500千円
- (6) 高度医療専門人材等育成事業 36,573千円
- (7) 臨床研修医等確保・育成事業 19,154千円

4 収益的収支の状況

(単位：千円)

	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減
病院事業収益	39,283,223	37,936,040	1,347,183
医療収益	29,219,321	27,679,630	1,539,691
入院収益	19,996,745	19,133,553	863,192
外来収益	8,090,992	7,441,401	649,591
一般会計繰入金	746,352	747,345	△ 993
その他	385,232	357,331	27,901
医療外収益	10,063,902	10,168,854	△ 104,952
一般会計繰入金	8,377,016	8,575,976	△ 198,960
うち新型コロナウイルス 感染症対策分	5,869,768	5,781,266	88,502
長期前受金戻入	1,548,800	1,455,477	93,323
その他	138,086	137,401	685
特別利益	0	87,556	△ 87,556
病院事業費用	39,834,035	37,329,823	2,504,212
医療費用	39,238,635	36,691,132	2,547,503
給与費	17,865,876	17,446,893	418,983
材料費	10,449,062	10,027,490	421,572
経費	6,227,232	6,163,422	63,810
減価償却費	4,127,640	2,580,387	1,547,253
その他	568,825	472,940	95,885
医療外費用	592,400	635,691	△ 43,291
特別損失	0	0	0
予備費	3,000	3,000	0
収支差	△ 550,812	606,217	△ 1,157,029
償却前利益	2,635,345	2,107,146	528,199

(1) 病院事業収益…392億8,322万3千円 (前年度比 +13億4,718万3千円)
入院・外来収益の増加等により、前年度比3.6%の増

- 入院収益…199億9,674万5千円 (前年度比 +8億6,319万2千円 +4.5%)
延入院患者数の増のほか、DPC制度に対応した効率的な医療提供及び新たな施設基準の取得等に取り組み、増加を見込む。
- 外来収益…80億9,099万2千円 (前年度比 +6億4,959万1千円 +8.7%)
延外来患者数の増のほか、地域医療連携の強化に取り組み、増加を見込む。
- 一般会計繰入金…91億2,336万8千円 (前年度比 △1億9,995万3千円 △2.1%)
繰出基準等により算定した結果、減少を見込む。
(新型コロナウイルス感染症対策分…前年度比 +8,850万2千円)
(資本的収支分23億8,204万5千円と合わせて総額115億541万3千円)

(2) 病院事業費用…398億3,403万5千円 (前年度比 +25億421万2千円)
減価償却費の増等により、前年度比6.7%の増

- 給与費…178億6,587万6千円 (前年度比 +4億1,898万3千円 +2.4%)
職員の増員等により、増加を見込む。
- 材料費…104億4,906万2千円 (前年度比 +4億2,157万2千円 +4.2%)
後発医薬品の採用及び診療材料調達業務委託等により費用削減する一方、高額な薬品を使用する外来化学療法患者の増等により、増加を見込む。
- 経費…62億2,723万2千円 (前年度比 +6,381万円 +1.0%)
経費節減に努める一方、人件費上昇に伴う委託費の増等により、増加を見込む。
- 減価償却費…41億2,764万円 (前年度比 +15億4,725万3千円 +60.0%)
宮崎病院の新病院完成に伴う建物及び医療器械等の減価償却費の増により、増加を見込む。

(3) 収支…5億5,081万2千円の赤字

- 前年度比…11億5,702万9千円の減
- 償却前利益…26億3,534万5千円 (前年度比 +5億2,819万9千円)

5 資本的収支の状況

(単位：千円)

	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減
資本的収入	7,250,745	20,083,413	△ 12,832,668
企業債	4,868,700	17,913,300	△ 13,044,600
一般会計繰入金	2,382,045	2,154,515	227,530
補助金	0	15,598	△ 15,598
資本的支出	9,104,611	22,093,676	△ 12,989,065
建設改良費	5,611,611	18,532,499	△ 12,920,888
改築整備費	2,528,213	10,226,909	△ 7,698,696
その他改良工事費	1,168,291	1,102,935	65,356
資産購入費	1,679,137	7,014,832	△ 5,335,695
リース資産購入費	235,970	187,823	48,147
企業債償還金	3,456,000	3,524,177	△ 68,177
その他	37,000	37,000	0
収支差	△ 1,853,866	△ 2,010,263	156,397

※ 資本的収支の不足額1,853,866千円については、損益勘定留保資金等で補てんする。

**(1) 資本的収入…72億5,074万5千円 (前年度比 △128億3,266万8千円)
企業債発行額の減等により、前年度比63.9%の減**

- 企業債…48億6,870万円 (前年度比 △130億4,460万円 △72.8%)
新県立宮崎病院建設工事の完了等に伴い、減額を見込む。
- 一般会計繰入金…23億8,204万5千円 (前年度比 +2億2,753万円 +10.6%)
繰出基準等により算定した結果、増加を見込む。

**(2) 資本的支出…91億461万1千円 (前年度比 △129億8,906万5千円)
建設改良費の減等により、前年度比58.8%の減**

- 建設改良費…56億1,161万1千円 (前年度比 △129億2,088万8千円 △69.7%)
 - ・ 改築整備費…25億2,821万3千円 (前年度比 △76億9,869万6千円 △75.3%)
(主な工事)
 - ・ 県立宮崎病院解体他工事 (県立宮崎病院)
 - ・ その他改良工事費…11億6,829万1千円 (前年度比 +6,535万6千円 +5.9%)
(主な工事)
 - ・ 医師公舎内部改修工事 (県立宮崎病院)
 - ・ 非常用発電設備二重化改修工事 (県立延岡病院)
 - ・ 中央監視設備改修工事 (県立日南病院)
 - ・ 資産購入費…16億7,913万7千円 (前年度比 △53億3,569万5千円 △76.1%)
 - ・ リース資産購入費…2億3,597万円 (前年度比 +4,814万7千円 +25.6%)
- 企業債償還金…34億5,600万円 (前年度比 △6,817万7千円 △1.9%)

(3) 収支…18億5,386万6千円の収支不足

- 不足額は、損益勘定留保資金等で補てんする。

6 病院別収支の状況

(1) 収益的収支

(単位：百万円)

	宮崎病院			延岡病院			日南病院		
	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増 減	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増 減	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増 減
病院事業収益	18,161	17,513	648	14,055	13,421	635	7,067	7,003	64
うち入院収益	8,327	8,044	283	8,184	7,711	473	3,486	3,378	108
うち外来収益	3,864	3,495	369	2,815	2,641	174	1,412	1,305	107
うち繰入金	5,137	5,247	△ 110	2,331	2,354	△ 23	1,655	1,723	△ 68
病院事業費用	19,233	17,435	1,798	13,279	12,691	589	7,322	7,204	118
うち給与費	8,351	8,277	74	5,813	5,544	269	3,701	3,625	76
うち材料費	4,926	4,761	166	4,130	3,841	289	1,393	1,426	△ 33
うち経費	2,704	2,783	△ 79	2,104	2,050	54	1,420	1,331	89
収 支 差	△ 1,072	78	△ 1,150	776	730	46	△ 255	△ 202	△ 53
償 却 前 利 益	1,403	955	447	1,192	1,147	46	40	5	35

※ 四捨五入の関係で、病院事業収益と病院事業費用の差と収支差が一致しないことがある。

(2) 資本的収支

(単位：百万円)

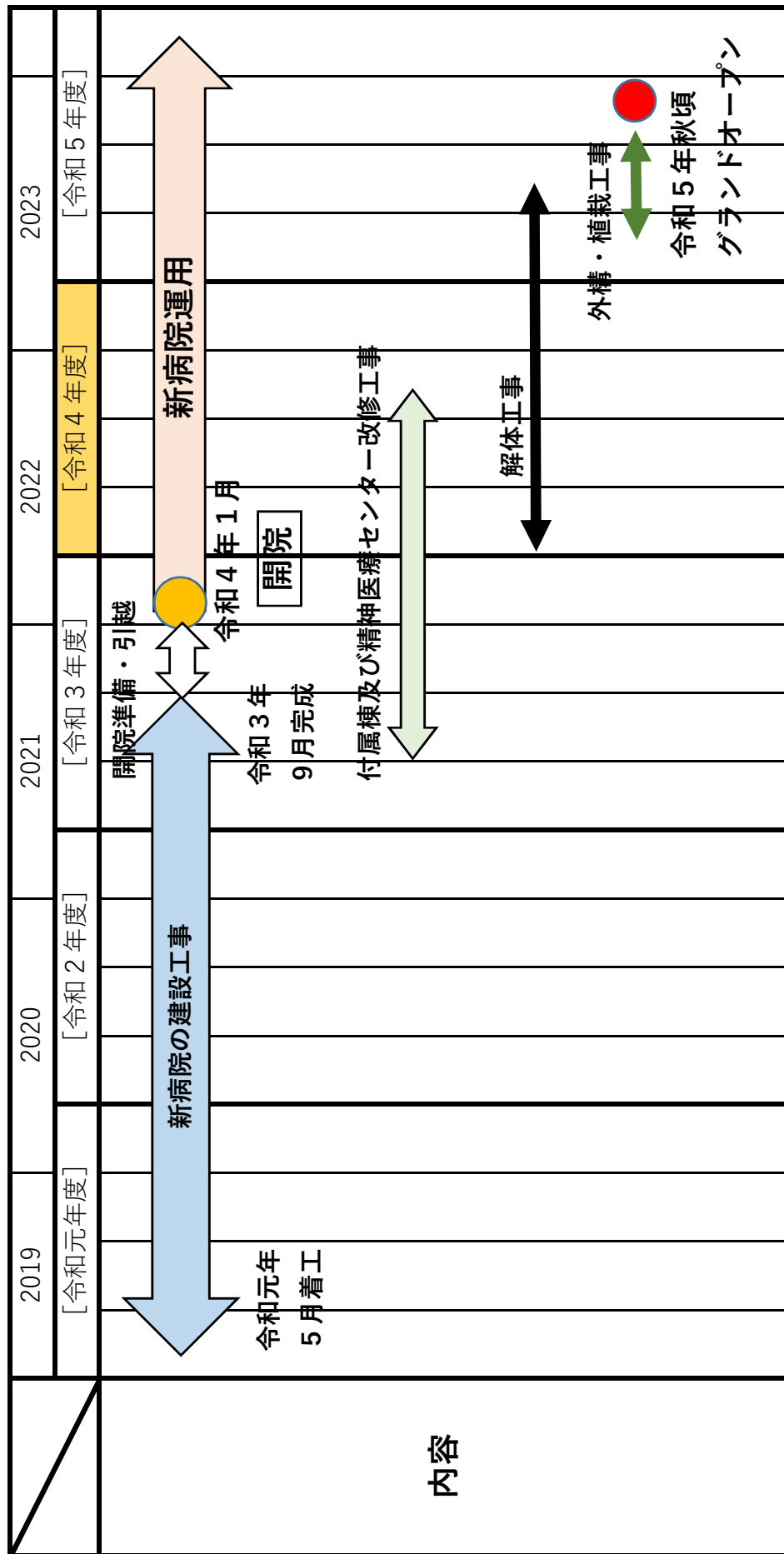
	宮崎病院			延岡病院			日南病院		
	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増 減	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増 減	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増 減
資本的収入	3,391	16,741	△ 13,350	2,507	1,898	609	1,353	1,445	△ 92
うち企業債	2,869	16,239	△ 13,371	1,278	932	347	722	742	△ 21
うち繰入金	522	486	36	1,229	966	263	631	703	△ 71
資本的支出	4,013	17,715	△ 13,703	3,213	2,509	704	1,879	1,869	10
うち建設改良費	3,169	16,767	△ 13,597	1,655	985	670	787	781	6
うち企業債償還金	843	949	△ 106	1,539	1,506	33	1,074	1,070	4
収 支 差	△ 622	△ 975	353	△ 706	△ 611	△ 94	△ 526	△ 424	△ 102

※ 四捨五入の関係で、資本的収入と資本的支出の差と収支差が一致しないことがある。

7 新規・重点事業の概要

事業名	県立宮崎病院改築事業 (改修・解体工事等)	新・改・ 既	課名	経営管理課
		国庫・ 県単		
<p>1 事業の目的</p> <p>令和4年1月に開院した新県立宮崎病院について、令和5年秋のグランドオープンに向けて、旧病院の建物の改修・解体工事等を行う。</p> <p>(1) 新病院の概要 鉄骨造地上8階建て塔屋1階 延べ面積47,609㎡ 病床数502床（許可病床）</p> <p>(2) 事業費 2,473,935千円</p> <p>2 令和4年度の主な事業及び予算額</p> <p>(1) 精神医療センター他改修工事 754,175千円 旧病院の精神医療センター棟、付属棟及び災害備蓄倉庫を改修し、感染症病床、研修施設、院内保育施設等を整備する。</p> <p>(2) 解体他工事 1,523,436千円 旧病院の建物及び付属施設を解体するとともに、駐車場、緊急汚水槽等を整備する。</p> <p>(3) 委託費及び事務費 196,324千円</p> <p>・上記工事に係る債務負担行為の設定（令和3～5年度） 3,318,560千円</p> <p>3 事業の効果</p> <p>全県レベルの中核病院として、高度で良質な医療を安定的に供給することができるとともに、大規模災害時に基幹災害拠点病院としての役割を果たし、臨床研修を始めとした、教育・研修に資することができる。</p> <p>4 整備スケジュール</p> <p>別紙のとおり</p> <p><参考> 県立宮崎病院改築事業 総事業費 360億円（見込）</p>				

県立宮崎病院整備スケジュール



内容

事業名	県立延岡病院心臓脳血管センター ハイブリッド手術室整備事業	新・改・既	課名	経営管理課
		国庫・ <u>県単</u>		

1 事業の目的

県北地域の中核病院である県立延岡病院において、心筋梗塞や脳卒中、重症外傷など一刻を争う救急疾患に係る医療提供体制のさらなる充実・強化を図るため、心臓脳血管センターの第三室としてハイブリッド手術室を新たに整備する。

2 事業の概要

(1) 事業費

551,618千円

(2) 事業内容

① ハイブリッド手術室整備工事 51,618千円

手術室と同等の空気清浄度を保ち、侵襲性の低い血管内治療と外科手術のいずれにも対応できるハイブリッド手術室を整備する。

② 医療器械整備 500,000千円

高精細な血管撮影装置や手術台等のハイブリッド手術室として必要な関連器械一式を整備する。

3 事業の効果

(1) ハイブリッド手術室整備により、高精細な血管撮影を行いながら手術を行うことが可能となるほか、カテーテル治療から外科的治療への緊急的な切替えにも対応できることとなるなど、県北地域の循環器疾患、脳神経疾患、外傷等に係る医療提供体制の充実・強化が図られる。

(2) 医療提供体制の充実・強化に伴い、多くの症例に対応できるようになるため、病院機能が向上するとともに、研修施設としての魅力が高まることで若手の医師確保にも高い効果が期待できる。

事業名	働き方改革関連システム導入事業	新・改・既	課名	経営管理課
		国庫・ <u>県単</u>		

1 事業の目的

県立病院における働き方改革を推進するため、全職員の勤務管理を行う就業管理システムの導入及び看護勤務システムの更新を行うとともに、人事・給与システム及び財務会計システムについて、システム間における連携等の検討を行う。

2 事業の概要

(1) 事業費

84,920千円

(2) 事業内容

① 就業管理システムの導入

全職員の出退勤、時間外勤務、休暇等の申請や管理を行うシステムを導入する。

② 看護勤務システムの更新

看護師の勤務計画を自動で作成できるようにするため、現在運用しているシステムを更新する。

③ 人事・給与システム及び財務会計システムの更新検討

人事・給与システムと財務会計システムの更新に当たり、システム間で連携できる仕様の検討を行う。

3 事業の効果

(1) 就業管理システム及び看護勤務システムの導入・更新により、全職員の勤務管理が可能となり、事務の効率化及び職員負担の軽減が図られる。

(2) 人事・給与関連システムと財務会計システムの更新検討を行うことにより、事務作業の自動化など、将来的な業務改善につなげることができる。

事業名	県立病院経営改善事業	新・改・ 既	課名	経営管理課
		国庫・ 県単		

1 事業の目的

人口減少社会の到来や急速な少子高齢化の進行、国の医療制度改革など県立病院を取り巻く環境が目まぐるしく変化し、さらには新型コロナウイルス感染症対策が病院経営にも大きな影響を及ぼす中で、県立病院としての役割や機能を十分に果たすため、診療報酬制度に対応した経営改善策を講じ、職員一丸となって良質な医療の提供と経営の健全化に取り組むことにより、資金収支の改善に努め、安定した経営基盤の確立を図る。

2 事業の概要

(1) 事業費

30,000千円

(2) 事業内容

DPC制度（診断群分類別包括評価）などの診療情報を活用した専門的な見地からの分析や病院を取り巻く環境分析を踏まえ、診療報酬制度への的確な対応や各県立病院の課題及び将来を見据えた医療機能・役割を踏まえた改善策に取り組み、効率的・効果的かつ安定的な医療提供体制を構築し、資金収支の改善による経営基盤の安定化を図る。

3 事業の効果

- (1) DPC分析や環境分析により、医療提供の改善余地を把握することができ、県立病院の収益確保や医療資源使用の適正化による収支改善が期待できるとともに、質の高い医療提供体制の充実につながる。
- (2) 各種の経営改善のノウハウを職員が習得することにより、経営参画意識をより一層向上させることにつながり、病院経営に精通する人材を育成することができる。
- (3) 収益向上及び費用削減により資金収支の改善に取り組み、経営基盤の安定化を図る。更に将来を見据えた医療機能・役割を踏まえた医療提供体制を構築することにより、県民に高度で良質な医療を継続的に提供していく。

事業名	地域医療連携推進事業	新・改・ 既	課名	経営管理課
		国庫・ 県単		

1 事業の目的

県立病院が全県レベルあるいは地域の中核病院、地域医療支援病院としての役割を果たすため、県医療計画が目指す患者の症状に応じた切れ目のない医療・介護サービスの提供が図られるよう、かかりつけ医を含めた地域の医療機関や介護保険事業所等との連携を進める。

また、医療に関する情報を発信し、県民が医療機関を適切に選択できるよう支援する。

2 事業の概要

(1) 事業費

10,500千円

(2) 事業内容

① 地域医療機関連携・支援事業

地域医療の充実を図るための地域医療従事者に対する研修会、地域の医療機関や介護保険事業所等との連携を図るための症例検討会の実施、医療器械を含む施設の共同利用のための勉強会等を開催する。

② 医療情報等提供事業

県民の病気等に対する正確な知識の習得と適切な治療機会の確保を図るため、広報誌等の活用や県民を対象とした講演会を行う。

また、県立病院で提供している高度医療について積極的に情報を公表し、県民が身近なところで治療ができるよう支援を行う。

3 事業の効果

(1) 地域の医療機関等との連携を進めることにより、かかりつけ医が県立病院の十分な後方支援を受けられるようになるなど、地域医療の充実が図られ、患者が身近な地域で安心して治療を受ける環境が整備される。

(2) 県立病院の高度医療提供体制等について、適切に情報発信することにより、県民の理解が深まり、患者の増加のみならず、研修医の増加や優秀な看護師等の確保も図られる。

事業名	高度医療専門人材等育成事業	新・改・ 既	課名	経営管理課
		国庫・ 県単		

1 事業の目的

医師や看護師、薬剤師等の医療スタッフの専門資格の取得・更新等を支援し、高度かつ専門的な医療提供体制の一層の向上を図るとともに、事務スタッフの事務力強化を図る。

2 事業の概要

(1) 事業費

36,573千円

(2) 事業内容

① 医師等派遣研修事業

ア 先進病院短期派遣研修事業

医師等の資質向上を図るため、国内の先進病院へ短期間派遣し、高度・先進医療の技術を習得させることを目的とする。

イ 医師国際学会派遣事業

国際的にレベルの高い学会において研究成果の発表を行い、世界中の医師とともに研鑽することで、さらなる医療レベルの向上を図る。

② 認定看護師育成等事業

特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有する看護職員の養成等を図り、県立病院における医療水準及び患者サービスの向上を図る。

③ コメディカルスタッフ育成事業

医師、看護師とともにチーム医療を担うコメディカルスタッフの専門資格取得を促進し、県立病院における医療水準及び患者サービスの向上を図る。

④ 医療事務スタッフ育成事業

事務部門職員の専門性の向上等、事務力の強化を図り、医療現場の円滑な運営や医療制度等を的確に踏まえた病院経営に取り組む。

3 事業の効果

(1) 医師や看護師及びコメディカルスタッフの専門性を高めることにより、提供する医療の質及び患者サービスの一層の向上が図られる。

(2) 医療事務職員の基礎知識あるいは専門知識の向上を図ることにより、病院事業の円滑かつ効率的な運営につながる。

事業名	臨床研修医等確保・育成事業	新・改・ 既	課名	経営管理課
		国庫・ 県単		

1 事業の目的

県立病院における臨床研修医等の研修・教育体制の充実に取り組み、県立病院をはじめ県内で勤務を希望する医師の確保、育成を図る。

2 事業の概要

(1) 事業費

19,154千円

(2) 事業内容

① 臨床研修医等確保事業

研修医等確保のため県内の研修病院合同での説明会への参加や医学生向けバスツアーの開催、研修医等募集用のPRツールの作成など積極的な活動を行う。

ア 県内の他の基幹型研修病院と合同で病院説明会へ出展

イ 医学生向け病院見学バスツアーの実施

ウ 医学生等向け雑誌等への広告掲載及びPR用リーフレットの作成

② 臨床研修医等育成事業

院内外の講師による研修医等向けセミナーの定期的な開催や教育サポートツールの導入など研修・教育環境の充実に図るとともに、研修医等の学会発表や講習会参加等を支援し、人材育成に努める。

ア 研修医向け勉強会・セミナーの開催

イ 学会等派遣支援

ウ 診断サポートツール等の教育環境の整備

3 事業の効果

(1) 県立病院における研修・教育支援体制を強化し、アピールポイントとして打ち出すことにより、研修医等の人材確保に取り組むことができる。

(2) 研修医等の確保・育成により、県立病院の診療体制の充実と収益効果が期待できるとともに、県全体の医療体制の充実につながる。

(参考) 過去10年の臨床研修医マッチング実績

(単位：人)

H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
10	11	16	14	13	20	19	21	22	28

V 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について

経営管理課

1 県立病院におけるこれまでの取組状況

(1) 患者受入状況

(R4. 4. 20現在)

病院名	確保病床数	累計受入数	現在受入数
宮崎病院	7床（感染） 10床（一般） 計 17床	345人	6人
延岡病院	4床（感染） 7床（一般） 計 11床	180人	7人
日南病院	4床（感染） 6床（一般） 計 10床	94人	1人
合計	15床（感染） 23床（一般） 計 38床	619人	14人

※患者急増時には、病床を追加で確保し、患者の受入れを実施。

(2) 主な取組（第6波～第7波関連）

- ① 他の受入医療機関との役割分担のもと、中等症以上の患者や看護必要度の高い患者の積極的な受入れを実施。
- ② DMATとして、保健所やクラスター発生施設に医療スタッフを派遣し、患者の療養調整や健康観察等の業務に従事。
- ③ 新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種会場等において、医師、薬剤師及び看護師がワクチン追加接種業務に従事し、ワクチン接種の早期完了に協力。
- ④ ひまわり荘敷地内に開設された県重症化予防センターにおいて、医師が重症化を予防する中和抗体薬の投与などの医療的措置を実施。

2 今後の対応方針

新型コロナウイルス感染症患者の持続的・安定的な受入れに向けた院内体制を維持しつつ、地域の医療機関とも連携しながら、県立病院が本来担うべき救急医療や高度・急性期医療等との両立を図っていく。